

平成29年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合議会

議員視察報告

視察場所 フェニックス堺基地  
京都市東北部クリーンセンター

視察日時 平成29年11月1日(水)

参加者 真利一朗 議長・反甫旭 副議長・井上源次 議員・井上博 議員・澤田和代 議員・  
西田武史 議員・松本妙子 議員・南加代子 議員・牛尾治朗 議員・川岸貞利 議員・  
阪口勇 議員・田畑庄司 議員・中山敏数 議員

視察目的 廃棄物最終処分搬入施設の見学  
クリーンセンターの施設管理運営

視察内容 施設視察及び業務内容調査

[業務内容に関する主な調査事項]

実施日	施設名	所在地	能力・規模等		竣工
平成29年 11月1日	フェニックス 堺基地	堺市西区	面積 41,330 m <sup>2</sup>		H4年3月
	京都市 東北部クリーンセンター	京都市左京区	焼却炉 350 t × 2 炉	発電容量 15,000KW	H13年3月

<フェニックス 堺基地>

大阪湾広域臨海環境整備センターの事業として、現在近畿2府4県168市町村の一般廃棄物等を受け入れ最終処分しており、尼崎沖、泉大津沖、神戸沖、大阪沖の4つの埋立処分場がある。

尼崎沖、泉大津沖は地残土や浚渫土砂等のみを受け入れ、神戸沖、大阪沖は焼却灰等を受け入れている。現在、岸和田市貝塚市クリーンセンターの焼却灰を埋め立てている大阪沖処分場は、平成21年10月1日から受入開始し、当初平成33年度までの予定であった埋立期間を平成39年度まで延長し、計画の3割程度を埋立処分している。

今回視察の堺基地はその経由地で、敷地面積41,330 m<sup>2</sup>に投入ステージやストックヤードなどを備える施設であり、受入開始は平成4年3月27日で、東大阪地区・南大阪地区・京都府南部・奈良県北部の42市27町9村の焼却灰等がここに集約されている。運搬船は積荷が850 m<sup>3</sup>で3船を入替で1日2船体制で、大阪沖に海上輸送で運搬されている。

平成28年度の岸和田市貝塚市クリーンセンターからの堺基地への受入量は約13,000 tであった。

<京都市 東北部クリーンセンター>

当センターは、京都市に3ヶ所あるうちの東北部に位置するクリーンセンターである。

平成13年3月の竣工で川崎重工業(株)の施工である。焼却能力は700 t (350 t / 24 h)の炉が

2基)で、発電能力は15,000kWとなり余剰電力は売却している。

京都市においては、竣工後20年を目途にプラント設備を改修する基幹的設備改良工事を実施する予定である。間もなくその時期となるので、建物全体も合わせて、現在どういう計画でいくか検討中であり、基幹的設備改良工事は平成31年度以降で行っていく予定である。